

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 ミクロ経済学 I	その他参照	開講年次	【G】 - 【EF】 2	単位数	【G】 - 【EF】 2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	経済現象の相互依存関係の解明			担当者	渡辺 克博	
授業概要	<p>【概要】 個々の経済現象の相互依存関係を、消費・生産・分配といった面から解明する。</p> <p>【到達目標】 ミクロ経済学の基礎的な課題として、単純化されたいくつかの曲線を理解できるようにする。</p>					
履修条件	経済学 I ・経済学 II を履修し、単位を修得した者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 必要に応じて資料を提供。</p> <p>【参考書】 『入門ミクロ経済学』 小林弘明他、実教出版。 『ミクロ経済学入門』 茂木喜久雄、週刊住宅新聞社。</p>					
授業回数	授業内容					
1	ガイダンス 講義の進め方。		予習：経済的事象の把握。 復習：客観的事実の把握とその発生要因。			
2	ミクロ経済学の定義。		予習：微視的経済学の扱う範囲。 復習：経済用語の把握。			
3	需要曲線と供給曲線。		予習：価格はいかにして決定されるのか。 復習：価格決定のモデルの把握。			
4	限界効用曲線についての理解。		予習：限界効用および総費用。 復習：限界効用均等の法則の把握。			
5	無差別曲線による解説。		予習：無差別曲線とは。 復習：無差別曲線の把握。			
6	所得の変化と無差別曲線。		予習：無差別曲線の把握。 復習：所得が変化した場合の曲線の動き。			
7	生産論。		予習：生産論における用語の解説。 復習：限界生産力均等の法則。			
8	生産論における曲線モデル。		予習：限界生産力均等の法則。 復習：等量曲線による把握。			
9	等量曲線の変化。		予習：等量曲線の理解。 復習：総費用あるいは要素価格の変化。			
10	フリップス曲線。		予習：物価上昇と賃金上昇 復習：完全雇用と物価上昇。			
11	経済変動。		予習：景気循環論の理解。 復習：景気循環論。			
12	短期、中期、長期波動。		予習：景気循環論の理解。 復習：変動の要因の把握。			
13	くもの巣の理論。		予習：景気変動の歴史。 復習：安定、不安定、中立均衡の理解。			
14	余剰理論。		予習：消費者・生産者余剰のモデル。 復習：曲線による把握。			
15	比較生産費の理論。		予習：D. リカードによる理論の考察。 復習：D. リカードのモデルによる考察。			
評価方法	筆記試験 (70%) および授業への参加態度等 (30%) を考慮して総合的に評価。ただし受講生の人数等の関係で試験に替えてレポートないし、その他の方法を取ることがある。その場合講義中に説明する。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解した者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。また理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、その理解が不十分であると思われる者には、その程度に応じて「D」または「E」とする。なお、試験欠席など評価不能の場合は「F」とする。					
その他	※G 別：法【-】 社【-】 情【-】 / EF 別：法【-】 社【-】 経【選択必修(β)】					